

地域づくりとアート 「編集」の視点から再考する

日本全国でアートプロジェクトが盛んに行われるようになってきました。しかし、何がアートなのか、それがどのように地域に貢献するのかについての理解は、まだ十分浸透していないようです。そこで九州大学ソーシャルアートラボでは、地域におけるアートプロジェクトを再考し、成功に導くための「編集」の力を身につける講座を企画しました。「編集」とは、リサーチ+プロデュース+マネジメントの総合的なスキルのことを指し、地域の価値を可視化し、ネットワークを創造的に活用しながらアートプロジェクトを企画運営・発信するのに必要不可欠なものです。

対象：文化事業や地域づくりに携わっている方・将来携わりたいと考えている方

会場：九州大学大橋キャンパス 7号館ワークショップルーム

受講料：3,000円（各回） ※申し込み方法は、裏面をご覧ください。

第1回 6月11日(土) 13:00 - 18:30
12日(日) 10:00 - 16:30

テーマ：地域をいかす編集

11日(土)

概論「地域をいかす編集」紫牟田伸子(編集家)

ケーススタディ①上田假奈代(NPO法人こえとことばとこころの部屋)

クロストーク

グループディスカッション

ワークショップ

12日(日)

ケーススタディ②松岡勇樹(株式会社アキワーク社)

ケーススタディ③山内泰(NPO法人ドネルモ)

ワークショップ

第2回 7月30日(土) 13:00 - 18:30
31日(日) 10:00 - 16:30

テーマ：地域をひらく編集

30日(土)

概論「地域をひらく編集」平井康之(本学教員)

ケーススタディ①楠本智郎(つなぎ美術館)

クロストーク

グループディスカッション

ワークショップ

31日(日)

ケーススタディ②白水高広(株式会社うなぎの寝床)

ケーススタディ③長野隆人(いわき芸術文化交流館アリオス)

ワークショップ

講師プロフィール

紫牟田伸子



編集家／プロジェクトエディター／デザインプロデューサー
美術出版社、日本デザインセンターを経て、2011年に独立。「ものごとの編集」を軸に企業や社会・地域に適切に作用するデザインを目指し、地域や企業の商品開発、ブランディング、コミュニケーション戦略などに携わる。『シビックエコノミー：私たちが小さな経済を生み出す方法』（編著／フィルムアート社／2016）など著書多数。

平井康之



撮影：川本聖哉

九州大学大学院芸術工学研究院デザインストラテジー部門教授
専門は生活空間デザイン、インクルーシブデザイン、デザイン思考。ソーシャルデザインの視点からデザイン研究を行う。国立民族学博物館客員教員。編著に『インクルーシブデザイン・ハンドブック』（共編、たんぼの家2006年）、『インクルーシブデザイン』（共編、学芸出版2014年）など。

上田假奈代



撮影：鈴木育郎

NPO法人こえとことばとこころの部屋（ココルーム）代表
01年「詩業家宣言」を行い全国で活動。03年ココルームをたちあげ「表現と自律と仕事と社会」をテーマに社会と表現の関わりをさぐる。08年から西成区（通称・釜ヶ崎）で喫茶店のふりをし、2016年「ゲストハウスとカフェと庭」を開く。大阪市立大学都市研究プラザ研究員。2014年度文化庁芸術選奨文部科学大臣新人賞。

楠本智郎



つなぎ美術館 学芸員

鹿児島大学大学院人文科学研究科修士課程修了。タイ国立大学常勤講師等を経て2001年から現職。社会教育事業としてのアートプロジェクトを考案し2008年から実践。近年は地域密着型アートプロジェクトの功罪を踏まえたうえで複数のプロジェクトを運営し、過疎地域におけるアートの可能性を探っている。「赤崎水曜日郵便局」プロデューサー兼管理人。

松岡勇樹



株式会社アキ工作社代表取締役

武蔵野美術大学修了後、建築構造設計事務所勤務を経て独立。1998年、故郷である国東市安岐町にアキ工作社を創業。2001年「段ボール製組立て式マネキン」でグッドデザイン賞受賞。2004年第二回大分県ビジネスブラングランプリで最優秀賞受賞。2009年から、廃校になった旧西武蔵小学校を国東市から借り受け、事業の拠点とする。日本文理大学建築学科客員教授。

白水高広



株式会社うなぎの寝床代表取締役

大分大学工学部福祉環境工学科建築コース卒業。筑後地域の商品開発やブランディングを行う「九州ちくご元気計画」の主任推進員を経て、2012年うなぎの寝床を立ち上げる。地域の人、文化、技術等を掘り起こしながら、様々な人々、会社、行政ともコミュニケーションをとり事業を推進。企画・デザイン・商品開発・撮影、調査研究等、幅広く活動を続ける。

山内泰



NPO法人ドネルモ代表理事

芸術工学博士（九州大学）。芸術文化を受け手の側から捉え直す理論研究の傍らドネルモを立上げる。紆余曲折を経て、ドネルモは「超高齢社会に向けて、1人ひとりの可能性が、誰かに関わることでかたちになってゆく社会をつくる」NPO法人へ。学び合いの場づくりや支えあいのしくみづくりの事業に取組む。その他、株式会社ふくしごと取締役、大学講師等。

長野隆人



撮影：鈴木雅蔵

いわき芸術文化交流館アリオス広報グループチーフ

2003年に月刊「ぶらあぼ」副編集長、2005年からはバレエとダンスの情報誌「DANZA」創刊編集長を兼務。いわきアリオスでは、通常の広報業務のほか、市民との協働プロジェクトや高校・大学、地元団体との連携を通して公立文化施設の可能性を広げる「施設広報」の確立に力を注ぐ。「文化からの復興 市民と震災といわきアリオスと」（水曜社）第一部を執筆。

■申し込み方法

下記の項目を記載のうえ、メール・FAXのいずれかよりお申し込みください。また、ソーシャルアトラボ公式ホームページ内「CONTACT」からもお申し込みいただけます。

《応募締切》第1回：6月6日【必着】 第2回：7月25日【必着】

《記載事項》①氏名（フリガナ） ②電話番号 ③メールアドレス

④住所※ ⑤受講回（全回・第1回のみ・第2回のみ）

※受講料のお振込方法を郵送でお知らせします。

すでに地域づくり・文化・アートの仕事に携わっている方々、また、これからこれらの分野に関わってみようと考えている方々の参加をお待ちしています。

【問い合わせ先】

九州大学ソーシャルアトラボ TEL&FAX：092-553-4552

E-mail：sal@design.kyushu-u.ac.jp

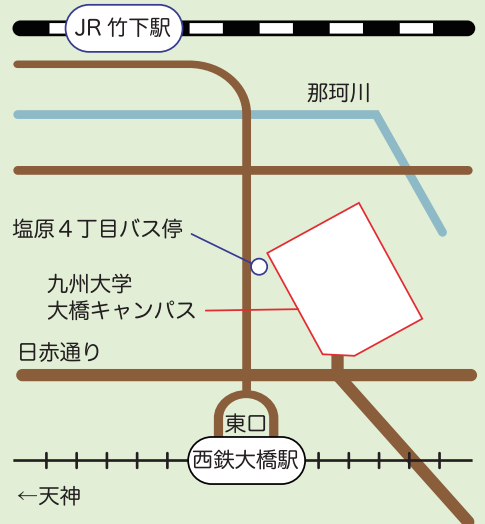
URL：http://www.sal.design.kyushu-u.ac.jp

https://www.facebook.com/SAL.Design.KU/



アクセス

←博多



主催：九州大学芸術工学研究院ソーシャルアトラボ
共催：公益財団法人福岡市文化芸術振興財団
後援：福岡県 福岡市 日本アートマネジメント学会九州部会
助成：平成28年度 文化庁 大学を活用した文化芸術推進事業



九州大学

大学院芸術工学研究院
Faculty of Design
Graduate School of Design
School of Design
Kyushu University